

これからも「現地現物 当事者の声を聴き 考える 伝える」活動を続けていきます！

防災 木曾三川流域の「水防演習・広域連携防災訓練」に参加。東京消防庁で都心部水害の座学、災害シミュレーションを体感。



子育て福祉 福祉施策からこぼれ落ちる「声なき声」。現場・地域に埋もれているその声を拾い上げる活動に参加。



産業環境 豊田合成(株) いなべ工場を視察。FCVミライの3本目の水素タンクを製造。再エネを最大限活用するエコ先端工場。



感謝

統一地方選挙ふりかえり 「無投票当選」という結果を受けて

2期目に向けた挑戦、改めて大変多くの皆様からのお支えで活動ができていることを実感しました。感謝と初心を忘れず、まっすぐに愚直に前に進んでいこうと決意を新たにしています。

「無投票で良かったね」という多くの声をいただいています。本当に良かったのでしょうか。いざ選挙となると、その前後も含め、本当に多くの皆様にご無理を言って活動に参画いただくわけです。要するに無投票となれば、選挙期間初日を除く8日間の周りへの「ご無理」がなくなるという面では良かったと言えるかもしれません。

しかしながら、目いっぱい皆様に自分自身の考えを訴えられる貴重な8日間が無くなり、私のこれまでの活動とこれからの考えに対する評価と言える「選挙での得票」が分からずに終わるといのは、正直モヤモヤ感があるのは否めません。



「ともに進む。」活動にご協力ください！

Form for collaboration requests, including fields for name and telephone number, and a section for the requester's message.

「伝える・聴く・考える」地域の皆様と一緒に議員活動を進めていくためのお願いです。

皆様からの「声」は、政策実現の「種」。できることできないことはありますが、まずはその「声」をお聞かせください！

(注)ご郵送の方のみこのハガキを同封しています。それ以外の方でご協力いただける方はこちらまでご連絡ください → ogiso.f@yahoo.co.jp

本当に私は皆様の信任を得ているのか、思いに寄り添っているのか、常に自身に対して自問自答してはいるものの、やはり選挙での得票、評価が議員活動の原動力・推進力になることは間違いないと思っています。

だからこそ私は応援いただいた皆様に対して、まずは感謝をお伝えするとともに、こうお願いしています。

「私の得票は依然として0票。だからこそ私の活動を見守るのではなく見張っていてほしい。そして思うところがあれば必ず声に出して私に直接伝えてほしい。動きが悪ければ尻を叩いてほしい。」

皆様の厳しい目や声が私に届かなくなった時、私の議員としての存在意義は無くなるのだろうと改めて深く心に刻みつつ、これからの4年間しっかり県政の場で働いていきたいと思ひます。

料金後納

差出人/返還先(差出發送代行) 6-18
佐川グローバルロジスティクス(株)
〒485-0075
小牧市三ッ淵惣作1350
佐川急便(株)中京支社社内メールセンター
このお荷物はご依頼人様からお預かりした荷物を当社が差出人となって発送代行しています。

ゆうメール

新政あいち あいち民主 県議団 県政レポート

2023年 夏号 Vol.17



- 1面/ご挨拶 6/2三河地方の豪雨災害 現地調査
- 2面/6月議会 質問トピックス 3面/6月議会 補正予算概要
- 4面/統一地方選挙ふりかえり 「無投票当選」という結果を受けて



- 今年度の主な役職
- 福祉医療委員会 副委員長
 - 名港管理組合議会 議員
 - あいち民主県議団 副総務会長
 - 新政あいち(※) 幹事長
- ※私のような無所属や立憲民主、国民民主の愛知県内地方議員ら144名で組織される政治団体。

あま市/蟹江町/大治町/飛鳥村

愛知県議会議員

おぎそ 史人

発行 おぎそ史人議員事務所
あま市木田八反田21コーポム1 1-C
Tel/Fax 052-718-7050
E-mail : ogiso.f@yahoo.co.jp
HP: http://ogiso-web.com/



正直に、まっすぐに、「未来への責任」を果たす。
1977年3月23日 生
1995年 愛知県立旭丘高等学校 卒業
2000年 名古屋大学 法学部 卒業
2003年 前衆議院議員 岡本みつゆり 秘書
2013年 豊田合成株式会社 勤務
2019年 愛知県議会議員 初当選
2023年 愛知県議会議員 2期目当選

私の議員活動も皆様方のお支えで2期目に入り早3か月。志を同じくする仲間(会派のメンバー)は32名から28名と減少、厳しい船出となりました。会派の名称も「新政あいち県議団」から「あいち民主県議団」に変わりました。賛否両論あることは承知しています。ただ、言えることは、単なる看板のすげ替えに辟易としている皆様に対して、愚直に政策を実現する「中身」でお応えしていくしかないと考えています。

そうした中、6/19~7/6の日程で6月定例議会が開催され、出産・子育て支援の取り組みを強化する「少子化対策パッケージ」、休み方改革を進める「ラーケーション」の導入、6/2の三河地方を中心とする豪雨被害への対応など、補正予算約74億円を可決しました。

(※補正予算概要については3面をご覧ください。)

激動の時代に立ち向かうべく、私たちのこれからの生活を直視し、現場目線、生活者目線を大切に『未来への責任を果たす強い覚悟と緊張感をもって県政に臨む』決意を新たにしています。皆様からのご意見ご質問は、政策実現の「種」、しっかり育てて実を結び、また次の世代に新たな種を撒く、そういった意味での私のキャッチフレーズ「ともに進む。」活動に今後ともご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

6/2 豪雨災害 床上・床下浸水の現状視察&災害ボランティアに同行 in 豊川市

三河地域を中心に多くの家屋が床上・床下浸水、支援が行き届かず多くの方が途方に暮れているという情報を聞き現地へ。

床上・床下浸水で、壁内や床下の湿気は多く、断熱材は水分を含み乾燥させずに修復すると、湿気とカビで住環境は侵されていきます。

断熱材の除去やエアコン室外機の補修など、個人ではどうすることもできない部分を手助けする専門の災害復旧支援ボランティアチーム「かわせみ」様と「ふじさん」様の作業に同行。被害の状況を各チームからヒアリング、被害に遭われた方からも直接生の声をお聞きすることができました。

重要なのは、行政と関係機関の連携、被災状況の共有と被災者ニーズの迅速かつ的確な把握。被災者の現実的な支援のあり方、ボランティアさんの協力の最大化、などなど多くの学びがありました。



6月定例議会 皆様にお伝えしたい あいち民主県議団 質問トピックス

代表質問① 中高生の英語力向上

問題意識

文科省が行った「英語教育実施状況調査」で、本件は中学3年生で全国ワースト3位、高校3年生で全国40位と低い結果となった。グローバル社会で将来活躍できる人材を育成するためにも、世界共通語である英語力を高めることは不可欠。

Table with 2 columns: 中学校 and 高等学校. Rows include 順位, 県名, and ※1生徒割合/※2生徒割合. Aichi is highlighted in red.

調査結果を受け、中高生の英語力を高めるため、教員へのサポートを含めどのように取り組むのか。

結果を重く受け止める。スピーキングやライティングのテストをこまめに行いつつ、子どもたちが継続的かつ意欲的に英語学習に取り組む環境を整えたい。教員のサポートとしては、効果的な取り組みを行っている実際の授業動画をまとめ、県内の学校に提供し活用を促している。今年度からは、小3から高3まで10年間の英語教育を一貫して捉え、地域の小・中・高の教員が互いの授業を参観し、指導方法や相互連携を話し合う仕組みをつくっていきたい。

一般質問① 警察手数料のキャッシュレス決済

問題意識

各種行政手続きにおいてもキャッシュレス決済が進む中、本県の手数料などの支払い窓口業務の中で、証紙の利用が最も多い窓口は運転免許の書き換えや車庫証明の発行など県警察行政となっている。

※警察手数料のキャッシュレス決済を可能としている場所は全国で約36%(2022年調査)。

警察手数料のキャッシュレス決済の導入について今後どのように取り組むのか。

キャッシュレス社会に対応するため、来年度から証紙と併用して、各種警察手数料でキャッシュレス決済ができるよう、本年度末までに必要機器を整備していく。

代表質問② 高齢者に対するコロナ対策

Q

5類移行後も重症化リスクの高い高齢者や高齢者施設入所者の命と健康をしっかりと守っていく必要があるが、今後どのように取り組むのか。

知事

高齢者施設等の職員への定期的なスクリーニング検査は継続、施設内で新規陽性者が発生した際は、PCR検査を速やかに実施できる体制を維持。

緊急の往診や訪問看護を行う医療機関を支援し、自宅療養中の高齢者や障がい者へのワクチンの巡回接種を行う医療機関に対する県独自の支援策も来年3月末まで引き続き実施する。

代表質問③ アジア競技大会・アジアパラ競技大会に向けたバリアフリー化

問題意識

開催まで3年余り、選手村にホテル等を活用する方針転換がなされるなど大会成功に向けて課題は山積している。特にアジアパラ競技大会は日本で初めて開催されるため、これを契機に多様性を認め合う社会を設備や環境面から具体化していく必要がある。

Q

ホテルやアクセスルート、大会会場のユニバーサルデザインの推進にこれからどう取り組むのか。

知事

すべてのアスリートが最高のパフォーマンスを発揮し、年齢や性別、障害の有無に関わらず全ての方がスムーズに観戦できる環境を整えることは重要。

整備基準「アクセシビリティガイドライン」を今年中にとりまとめ、ハード・ソフト両面で誰もが快適に大会を楽しめる環境づくりを進めていく。

一般質問② 県営住宅の「単身学生入居」

問題意識

県営住宅では、入居者の高齢化で自治会運営の滞りが課題となっている。そこで、自治会活動に参加してもらうことを条件に、大学生に格安家賃で入居してもらう取り組みが全国で広まっている。

Q

県営住宅の自治会活動の担い手を確保するため、「単身学生入居」を検討してはどうか。

県当局

直面する課題を解決するため、本来の対象者の入居を阻害しない範囲で学生の入居を認めることは有用な手段。国の「地域対応活用」の手法を用いて、先行して取り組んでいる自治体の事例を参考に、具体的な検討を進めていきたい。

2023.6月定例議会で可決された主な予算や議案内容は以下の通りです。

少子化対策パッケージ 《予算額 10億 5,572万円》

1. 男性の育児休業取得を促進する中小企業の支援

- 男性従業員が通算14日以上育児休業を取得 → 事業者に対して奨励金を支給
▶ 通算14日以上: 50万円
▶ 通算28日以上: 100万円
※ 1事業者につき1回限り



2. 低所得世帯に対し県独自で給付金を支給

支給額: 5万円/児童1人あたり

Table with 3 columns: 時期, 給付金, 備考. Rows include 妊娠, 出産, 1歳6か月児健診, 3歳児健診.

※支給対象は2023年4月1日以降に上記時期に達した児童を養育する児童扶養手当受給者又は非課税世帯

※県に直接電子申請が基本。10月申請 11月給付開始予定

3. さまざまな問題を抱える妊産婦への支援

- SNSを活用した相談支援(現状は電話のみ)
産科受診同行等のアウトリーチ型相談支援

1期目最初の一般質問「予期せぬ妊娠」で問題提起した内容がようやく実現に向け前進しました!

- 多胎児家庭を対象とした交流会の開催
里親制度や相談窓口の周知啓発カードの配布

アウトリーチとは? 支援が必要であるにも関わらず届いていない人に対して、行政や支援機関が積極的に出向いて必要なサービスや情報を届けること。

県政情報 将来に向けて減り続ける子どもの数 愛知県の少子化の状況

愛知県の出生数は減少を続け、2022年は51,151人と、1970年代の半分以下。

合計特殊出生率は、全国平均を上回るものの、近年は低下傾向にあり、2022年は1.35。(全国平均は1.26)

理想の子ども数を持ってない理由として「子育てや教育にお金がかかりすぎる」「働きながら子育てできる職場環境がない」がアンケート結果で上位になっている。

育児休業取得率の状況

Table with 3 columns: 性別, 愛知県, 全国. Rows include 男性, 女性.

教育 校外学習と特別支援の体制整備 《予算額 9億 1,254万円》

1. 「ラーケーション」導入に向けた体制整備

ラーケーションとは? 「ラーニング(learning)【学習】」と「バケーション(vacation)【休暇】」を組み合わせた造語。

愛知県は「休み方改革」プロジェクトを進めており、家族での校外学習活動の日として「ラーケーションの日」をつくり、1年間に3日まで(2023年度は年2日)平日に登校しなくても欠席扱いとしないこととしました。

※本年9月以降、名古屋市以外の愛知県内市町村の公立小中高で準備が整い次第実施されていきます。

- 実施にあたり、配布物の準備や給食費の会計処理など増加する事務に対応した校務支援員を配置(モデル事業)

● 全ての公立高等学校・特別支援学校と市町村で手を挙げた19市町472校が対象。

2. 特別支援学校の新設(基本設計)

- 長時間通学の解消 → 肢体不自由特別支援学校の新設(天白区)
過大化による教室不足の解消 → 知的障害特別支援学校の新設(豊田市)

その他事業

1. スマートシティモデル事業の追加公募

- 市町村による先端技術を活用した事業を支援

2. 「空と道がつながる愛知モデル2023」の推進

- 実証実験の実施
▶ 山間部での自動運転とドローンの荷物受け渡し
▶ ドローンによる病院や被災地への物資運搬
▶ デジタルマップの構築とドローンの飛行実証

3. 6月2日 三河地区豪雨での被災施設の復旧

- 道路橋梁など公共土木施設 約38.5億円
農業用施設など農林水産施設 約11.5億円
愛知こどもの国や社会福祉施設 約1.6億円

会派として被害対応を知事に要望!(6/9)

三河地方を襲った記録的な豪雨、人身家屋や公共インフラ被害も甚大、農林水産被害は68億円にも上っています。いち早く被害全容の把握と的確な支援措置を講じるよう知事に緊急要望しました。

